

PCIバス用LANボード LCI2-T ユーザーズマニュアル

ご使用になる前に	1
本製品の取り付け	2
Windows98/95 環境での設定	3
Windows2000 環境での設定	4
困ったときは	5
用語集	6
付録	7

このたびは、LCI2-Tをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書は、LCI2-Tの取り扱いかたと、ドライバのインストール手順について説明しています。LAN ボードを正しくお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

■使用上のお願い

本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。パソコンの故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™ は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任せません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください



お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。







パソコンの故障 / トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障 / トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■ 使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容が描かれています。(例:  感電注意)
	○に斜線は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例:  分解禁止)
	●は、しなければならない行為を示す記号です。●の近くに、具体的な指示内容が描かれています。(例:  電源プラグをコンセントから抜く)

警告



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



電源プラグを
抜く

本製品の取り付け / 取り外しをするときはパソコン、周辺機器の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。
電源プラグがコンセントに接続されたまま取り付け / 取り外しを行うと、感電および故障の原因になります。



分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。



電源プラグを
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグを
抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

注意



禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。



強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 故障、修理などのとき
- ・ パソコンの電源 OFF 直後に、すぐに電源を入れたとき
- ・ 長時間使っていなかったために電池が自然放電したとき
- ・ 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目次

1	ご使用になる前に	5
	本書の使い方	5
	本製品の概要	6
	パッケージ内容・各部の名称とはたらき	7
	セットアップの流れ	8
2	本製品の取り付け	9
	取り付け前の確認事項	9
	取り付け前の注意事項	10
	本製品の取り付け	11
	ケーブルの接続	13
3	Windows98/95 環境での設定	14
	ドライバのインストール	14
	インストール後の確認	26
	伝送モードの設定	28
	ネットワークの設定例	30
	他のパソコンとの接続	37
4	Windows2000 環境での設定	39
	ドライバのインストール	39
	伝送モードの設定	40
5	困ったときは	42
6	用語集	54
7	付録	59
	製品仕様	59
	モジュラコネクタ仕様	60

1

ご使用になる前に

本製品をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明します。
必ずお読みください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■表記上の約束

注意マーク

△注意 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク

□メモ 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク

▶参照 関連のある項目のページを記しています。

次へマーク

▼次へ 次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

コラムマーク



このマークがついている説明文は、知っているると便利な知識について説明しています。

■文中の用語表記

- ・文中 [] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- ・文中 『 』 で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
- ・本書では原則として LCI2-T を本製品と表記しています。

1

ご使用になる前に

本製品の概要

本製品の特長、動作環境について説明します。

■特長

本製品は、PCIバスを搭載したパソコンに取り付けて使用するLANボードです。主な特長は、次の通りです。

- ・ 10BASE-T (IEEE802.3) 規格準拠
- ・ RJ-45 モジュラコネクタ用ポート装備 (1ポート)

■動作環境

対応機種

DOS/V (OADG仕様) の PCI (Rev.2.0以降) バス搭載パソコン
NEC PC98-NX、PC-9821 シリーズ (PCI バス搭載) パソコン

対応 OS

- ・ Windows98/95 ・ Windows2000
- ・ WindowsNT4.0 ・ NetWare4.1J/3.12J サーバ / クライアント※1
- ・ マイクロソフト LAN マネージャクライアント※1

※1：NetWare4.1J/3.12J サーバ / クライアント・LAN マネージャクライアントをお使いの場合は、以下のOSをお使いください。

- ・ PC DOS 5.0/V以降 ・ MS-DOS 5.0以降
- ・ MS-DOS 5.0/V以降 ・ Windows3.1

■メモ

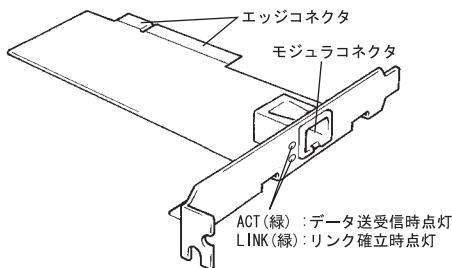
Windows98/95/2000 以外をお使いのかたは、「LC12-T Driver Disk」内の以下のファイルを参照して、ドライバをインストールしてください。

- ・ WindowsNT4.0：「WINNT40.TXT」
- ・ LAN マネージャクライアント：「LANMAN.TXT」
- ・ NetWare4.1J/3.12J サーバ：「NWSERVER.TXT」
- ・ NetWare4.1J/3.12J クライアント：「NETWARE.TXT」

パッケージ内容・各部の名称とはたらき

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

LAN ボード (LCI2-T) 1 個



△注意 コネクタは絶対に手をふれないでください、故障の原因となります。

LCI2-T Driver Disk..... 1 枚
ユーザーズマニュアル (本書)..... 1 冊
ユーザー登録はがき、保証書..... 1 枚

メモ

- ・ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入のうえ、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
- ・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

添付ディスクのバックアップ

安全のために、製品に添付されている「LCI2-T Driver Disk」は、必ずバックアップを作成し、実際の作業はバックアップしたディスクを使用するようにしてください。

セットアップの流れ

本製品をネットワークに接続する手順を説明します。全体の流れを理解してください。

セットアップの前に本書をよくお読みください

1 パッケージ内容を確認する **ページ7**

2 ユーザー登録カードを送付する

3 本製品の取り付け **ページ9**

4 LAN ケーブルを接続する **ページ13**

5 環境に合わせてドライバをインストールする

Windows98/95 **ページ14**

Windows2000 **ページ39**

WindowsNT4.0

「LCI2-T Driver Disk」内の「WINNT40.TXT」を参照してください。

NetWare4.1J/3.12J サーバ

「LCI2-T Driver Disk」内の「NWSERVER.TXT」を参照してください。

NetWare4.1J/3.12J クライアント

「LCI2-T Driver Disk」内の「NETWARE.TXT」を参照してください。

LAN マネージャクライアント

「LCI2-T Driver Disk」内の「LANMAN.TXT」を参照してください。

設定がうまくできないときは「困ったときは」を参照 **ページ42**

セットアップ終了

2

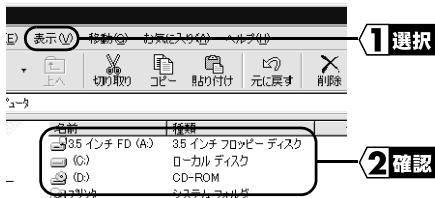
本製品の取り付け

本製品をパソコンに取り付ける手順を説明します。

取り付け前の確認事項

本製品を取り付ける前に、パソコンのドライブ構成を次の手順で確認してください。
Windows98を例に説明します。




- 1 『マイコンピュータ』をダブルクリックします。
- 2 [表示]メニューから[詳細]を選択します。



ここで表示されるドライブ名を確認します。

表示された各ドライブ名は、以降の手順で必要になりますので、下の表にメモしておいてください。

お使いのパソコンのドライブ構成は？

ドライブ名		上記の画面例	お使いのパソコン
3.5 インチフロッピーディスク		A:	
ハードディスク (ローカルディスク)		C:	
CD-ROM		D:	

取り付け前の注意事項


作業を行う前にパソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、ケーブル類を取り外してください。電源が ON のままで取り付けや取り外しを行うと感電する恐れがあります。

- ・ 各種パソコンのチリ・ホコリなどは取り除いてください。
- ・ パソコンおよび周辺機器の取り扱い、それぞれ付属のマニュアルに記載されている手順で行ってください。
- ・ 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

メモ PC98-NX シリーズをお使いの方は、本製品を取り付ける前に「NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いのかたへ」(P10) を参照して、アドバンスモードに設定してください。

NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いのかたへ

「CyberTrio-NX」がインストールされている機種では、「CyberTrio-NX」※をアドバンスモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバが正常にインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、アドバンスモードに変更してください。

「CyberTrio-NX」がインストールされているパソコンでは、タスクバーに「CyberTrio-NX」のインジケータが表示されます。

※ CyberTrio-NX とは

パソコンを使う人ごとに、Windows98/95 の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能です。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

次へ 「本製品の取り付け」(P11) へ進みます。

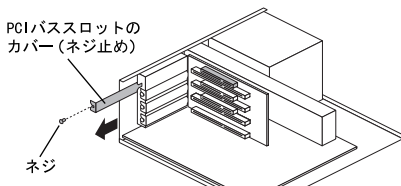
本製品の取り付け

メモ

- ・パソコンによってカバーの取り外し方や PCI バススロットの位置、数が異なります。必ずパソコンのマニュアルを参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けを行ってください。
- ・周辺機器の取り付け/取り外しについては、各周辺機器のマニュアルを参照し、各メーカーの定める手順に従ってください。

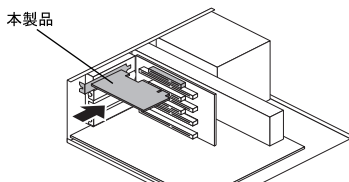
注意 本製品は精密機器です。接続端子には絶対に触れないでください。故障の原因となります。

- 1 パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを全て OFF にして、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 パソコン本体に接続してあるケーブル類を全て外した後、パソコン本体のカバーを取り外します。
- 3 本製品を取り付ける箇所の PCI バススロットのカバー（ネジ止め）を取り外します。



メモ 取り外したネジは本製品を固定するのに使用します。紛失しないようにしてください。
取り外した PCI バススロットのカバー（ネジ止め）は大切に保管しておいてください。

- 4 本製品を PCI バススロットに取り付けます。



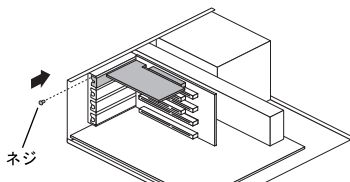
注意 奥までしっかりと差し込まれているか確認してください。

次頁へ続く

2

本製品の取り付け

- 5** PCI バススロットのカバーを固定していた（手順 4 で外した）ネジで本製品を固定します。



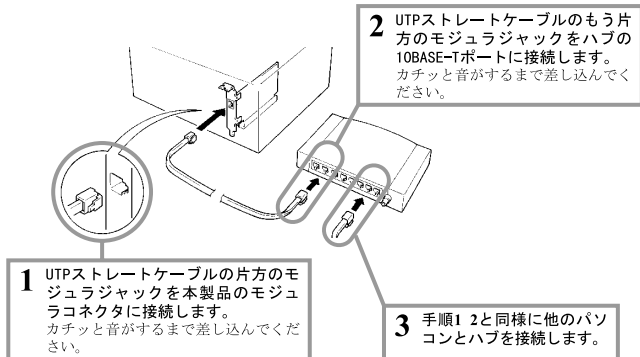
- 6** パソコン本体のカバーを元どおりに取り付けた後、ケーブル類を接続し、電源プラグを元どおりに差し込みます。パソコンの電源は、LAN ケーブルの接続が完了後、入れてください。

▶次へ 「ケーブルの接続」(P13) へ進みます。

ケーブルの接続

ネットワークに接続するときは、次のものがようになります。

- ・ UTP ストレートケーブル（別売：弊社製 ETP-10）
- ・ 10BASE-T ハブ



2

本製品の取り付け

⚠注意

- ・ カテゴリ 3、4、5 のケーブルを使用してください。弊社製品のケーブルは全てカテゴリ 5 のケーブルですので、100BASE-TX に対応しています。
- ・ 本製品は、ストレートケーブルとハブを使用して接続することを推奨します。

メモ ケーブルの長さは 100m 以下でご使用ください。

以上で本製品の取り付けとケーブルの接続は完了です。ドライバのインストールを行ってください。

👉次へ

Windows98/95 をお使いのかた：

「Windows98/95 環境での設定」(P14) へ進みます。

Windows2000 をお使いのかた：

「Windows2000 環境での設定」(P39) へ進みます。

Windows98/95/2000 以外をお使いのかた：

「LC12-T Driver Disk」内の以下のファイルを参照して、ドライバをインストールしてください。

- ・ WindowsNT4.0：「WINNT40.TXT」
- ・ NetWare4.1J/3.12J サーバ：「NWSERVER.TXT」
- ・ NetWare4.1J/3.12J クライアント：「NETWARE.TXT」
- ・ LAN マネージャクライアント：「LANMAN.TXT」

3

Windows98/95 環境での設定

ご使用の環境が Windows98/95 の場合は、以下の手順に従って、本製品の設定を行ってください。

ドライバのインストール

本製品をパソコンに正しく取り付けたら、パソコンの電源を ON にしてください。

△注意 ドライバのインストールを行う前に、パソコンに本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。

ドライバのインストールは、以下を参照して行ってください。

Windows98 をお使いの方:「Windows98 の場合」(P14) を参照してください。

Windows95 をお使いの方:「Windows95 の場合」(P18) を参照してください。

Windows98 の場合

1 [次へ] をクリックします。

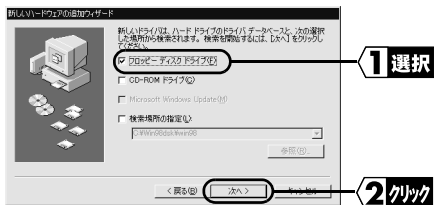


△注意 画面が表示されないときは、第 5 章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照してください。

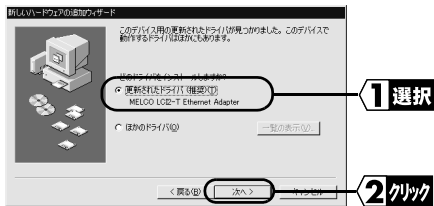
2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 「LCI2-T Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

4 「フロッピーディスクドライブ」を選択し、「次へ」をクリックします。



5 「更新されたドライバ」を選択し、「次へ」をクリックします。



6 「次へ」をクリックします。



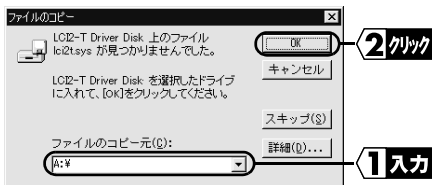
次頁へ続く

▶ 「'LCI2-T Driver Disk' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたときは、次の手順を行ってください。

- ① [OK] をクリックします。



- ② 「LCI2T.SYS が見つかりませんでした」と表示されますので、「ファイルのコピー元」に「A:¥」（フロッピードライブが A ドライブの場合）を入力し、[OK] をクリックします。

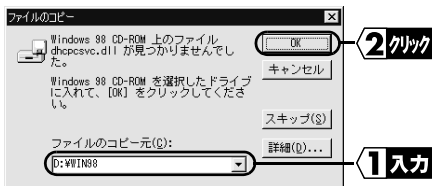


▶ 「'Windows98 CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたときは、次の手順を行ってから、手順7に進んでください。

- ① Windows98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、[OK] をクリックします。



- ② 「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）を入力し、[OK] をクリックします。



メモ PC-9821 シリーズをお使いのかたは、「D:¥WIN98N」（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）を入力してください。

7 [完了] をクリックします。



8 「LC12-T Driver Disk」をフロッピードライブから取り出します。

9 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

10 パソコンが再起動されます。

11 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。

続いて本製品が正常に動作していることを確認します。

メモ

再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバから IP ネットワークアドレスを取得できませんでした」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

次へ 「インストール後の確認」(P26) へ進みます。

Windows95 の場合

Windows95 のバージョンにより表示される画面が異なります。
Windows95 が起動したときに表示される画面に従ってください。

『デバイスドライバウィザード』画面が表示された場合



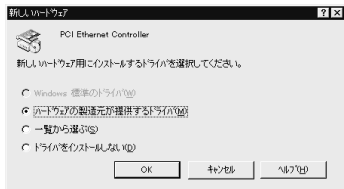
Windows95 のバージョンは次のいずれかです。

4.00.950 B 4.00.950 C

▶次へ ドライバのインストールの「『デバイスドライバウィザード』画面の場合 (Windows95 のバージョンが 4.00.950 B/4.00.950 C)」(P19) へ進みます。

▲注意 画面が表示されないときは、第 5 章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照してください。

『新しいハードウェア』画面が表示された場合



Windows95 のバージョンは次のいずれかです。

4.00.950 4.00.950a

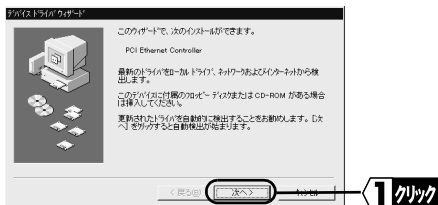
▶次へ ドライバのインストールの「『新しいハードウェア』画面の場合 (Windows95 のバージョンが 4.00.950/4.00.950a)」(P22) へ進みます。

▲注意 画面が表示されないときは、第 5 章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照してください。

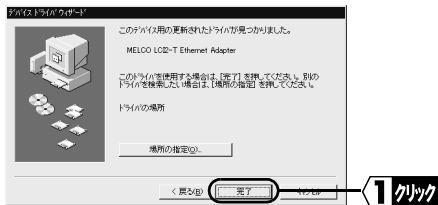
『デバイスドライバウィザード』画面の場合 (Windows95 のバージョンが 4.00.950 B/4.00.950 C)

1 「LCI2-T Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

2 [次へ] をクリックします。



3 [完了] をクリックします。



▶ 「デバイスドライバウィザード」画面で [完了] をクリックすると、「コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 4 に進んでください。

① [OK] をクリックします。

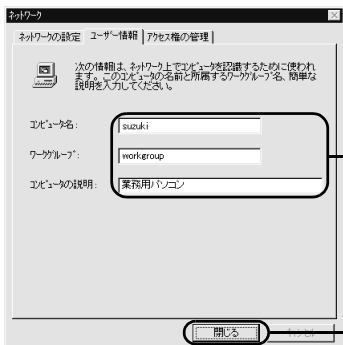


次頁へ続く

3

Windows98/95 環境での設定

- ② [コンピュータ名]、[ワークグループ]、および[コンピュータの説明]を入力し、[閉じる]をクリックします。



メモ [コンピュータ名]、[ワークグループ]には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意 一部の漢字やピリオド(.)などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

1 入力

2 クリック

注意 ワークグループ名は、ネットワークで接続する全てのパソコンに同じ名前を設定してください。

参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明]の詳細説明については、第6章 用語集の「Windows98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報) 画面」(P57)を参照してください。

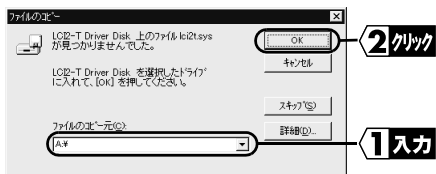
- ▶ 「'LCI2-T Driver Disk' ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」と表示されたときは、次の手順を行ってください。

- ① [OK] をクリックします。



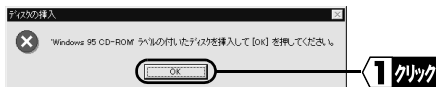
1 クリック

- ② 「LCI2T.SYSが見つかりませんでした」と表示されますので、「ファイルのコピー元」に表示されている「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を「A:¥」(フロッピードライブがAドライブの場合)に変更し、[OK] をクリックします。

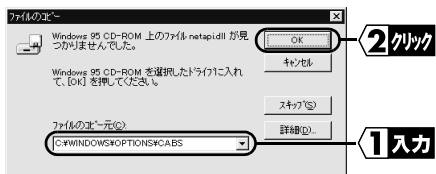


▶ 「『Windows95 CD-ROM』ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたときは、次の手順を行ってから、手順4に進んでください。

- ① [OK] をクリックします。



- ② 「ファイルのコピー元」に表示されている「A:¥」を「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」（Windows95 が C ドライブにインストールされている場合）に変更し、[OK] をクリックします。



メモ PC-9821 シリーズをお使いのかたは、「A:¥WINDOWS ¥OPTIONS¥CABS」と入力し、[OK] をクリックします。

4 ファイルのコピーが開始されます。

メモ ファイルのコピー途中に「ファイルのバージョン競合」画面が数回表示される場合があります。そのときは、「現在のファイルをそのまま使いますか?」と尋ねてきますので、「はい」をクリックしてください。

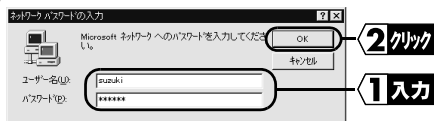
5 「LCI2-T Driver Disk」をフロッピードライブから取り出します。

6 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、「はい」をクリックします。

次頁へ続く

7 Windows95 が再起動します。

8 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。

続いて本製品が正常に動作していることを確認します。

メモ

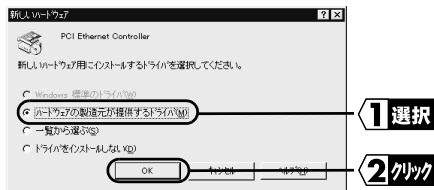
再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバから IP ネットワークアドレスを取得できませんでした」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

次へ 「インストール後の確認」(P26) へ進みます。

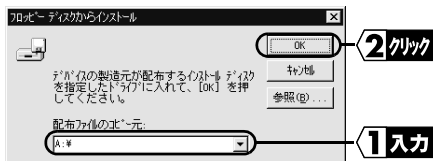
『新しいハードウェア』画面の場合 (Windows95 のバージョンが 4.00.950/ 4.00.950a)

1 「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択し、[OK] をクリックします。



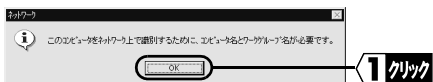
2 「LCI2-T Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

- 3 「A:¥」(フロッピードライブがAドライブの場合)を入力し、[OK] をクリックします。

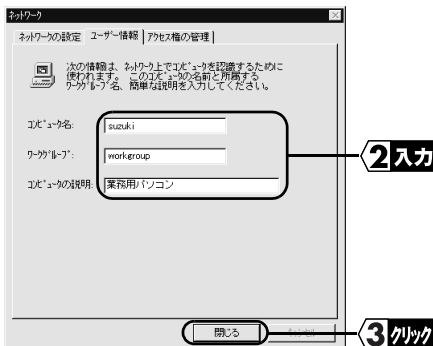


- ▶ 「フロッピーディスクからインストール」画面で [OK] をクリックすると、「コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 4 に進んでください。

- ① [OK] をクリックします。



- ② [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明] を入力し、[閉じる] をクリックします。



メモ [コンピュータ名]、[ワークグループ] には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意 一部の漢字やピリオド(.)などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

次頁へ続く

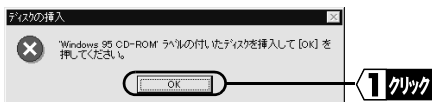
⚠注意 ワークグループ名は、ネットワークで接続する全てのパソコンに同じ名前を設定してください。

▶参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明]の詳細説明については、第6章 用語集の「■ Windows98 の識別情報 (Windows95 の場合はユーザー情報) 画面」(P57)を参照してください。

4 Windows95 の CD-ROM またはフロッピーディスクを挿入するようメッセージが表示されます。

CD-ROM の場合

Windows95 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、[OK] をクリックします。



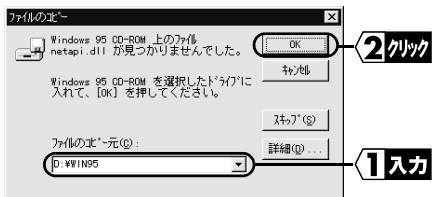
フロッピーディスクの場合

指定されたフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入し、[OK] をクリックします。



メモ フロッピーディスクの場合は各画面の指示に従ってフロッピーディスクを挿入してください。

5 [ファイルのコンピュータ] に表示されている「A:¥」を「D:¥WIN95」(CD-ROMドライブが D ドライブの場合)に変更し、[OK] をクリックします。



メモ プリインストールモデルで、CD-ROM ドライブが搭載されていないパソコンをお使いのかたは、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」(Windows95 が CD ドライブにインストールされている場合)を入力してください。

6 CD-ROM からファイルがコピーされます。

7 コピーが終了してから、「LCI2-T Driver Disk」をフロッピードライブから取り出します。

8 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックし、Windows95 を再起動します。

9 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。
続いて本製品が正常に動作していることを確認します。

メモ

再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバから IP ネットワークアドレスを取得できませんでした」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

次へ 「インストール後の確認」(P26) へ進みます。

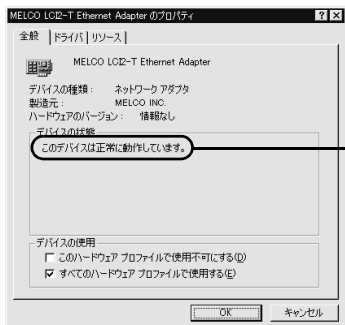
インストール後の確認

ドライバのインストールが完了したら、次の手順に従って、本製品が正常に動作していることを確認してください。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [システム] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。「MELCO LC12-T Ethernet Adapter」を選択し、[プロパティ] をクリックします。



4 [デバイスの状態] 欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていれば、本製品は正常に動作しています。



メモ

- ・「ドライバ」タブをクリックすると、Windows95 (4.00.950 B/C) の場合は、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または読み込まれていません。」と表示されますが、正常です。
- ・バージョンが4.00.950/aのWindows95では「ドライバ」タブは表示されません。

注意 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されないときは、本製品が正常に動作していません。第5章 困ったときは「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照して、ドライバを削除し、再インストールしてください。

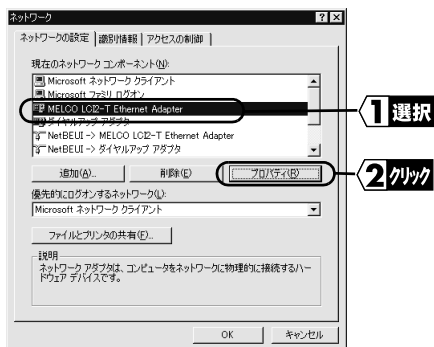
次へ

本製品が正常に動作している場合 : 「伝送モードの設定」(P28) へ進みます。

本製品が正常に動作していない場合 : 「インストール画面が表示されない。」(P43) へ進みます。

伝送モードの設定

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- 3 「MELCO LC12-T Ethernet Adapter」を選択し、[プロパティ] をクリックします。



4 [詳細設定] タブをクリックし、伝送モードを選択します。



注意 「10BASE-T Full Duplex」(全二重)に設定した場合は、自動認識したハブと接続しても通信できません。この場合は、必ず接続するハブの伝送モードも手動で「全二重」に設定してください。

設定できる伝送モードは次の通りです。

10BASE-T Full_Duplex	10Mbps/ 全二重
10BASE-T Half_Duplex	10Mbps/ 半二重

5 [OK] をクリックします。 伝送モードが設定されます。

ネットワークの設定例

本製品が正常に動作していることを確認したら、ネットワークに接続するための準備をします。

例として Windows98 の画面を使用しています。接続するパソコンの設定を行う際の参考にしてください。

▶ **参照** 詳しくは Windows98/95 に添付のファーストステップガイドを参照してください。

全てのパソコンについて以下の設定が必要になります。

- ・「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認
- ・「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加
- ・コンピュータ名・ワークグループの確認
- ・パソコンの共有設定

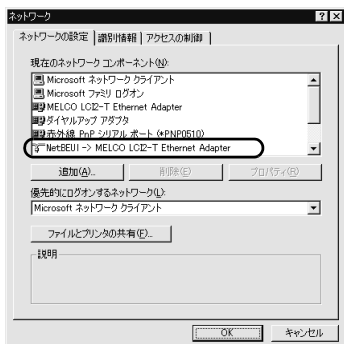
「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [ネットワーク] ダイアログボックスの [現在のネットワーク構成] に、「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーク クライアント」が表示されていることを確認します。
また、Windows98 をお使いのかたは、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。

■組み込まれているネットワークアダプタが本製品だけの場合



■組み込まれているネットワークアダプタが複数の場合



[現在のネットワークコンポーネント] 欄に、「 NetBEUI->MELCO LC12-T Ethernet Adapter 」と表示されますが、正常です。

⚠注意 表示されていないとき

「Microsoft ネットワーククライアント」の追加方法」(P35)、「NetBEUI」の追加方法」(P36)、を参照して Microsoft ネットワーククライアント、NetBEUI を追加してください。

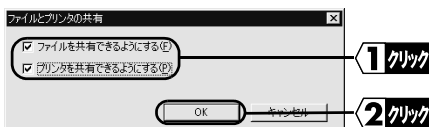
▶次へ 「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加」(P32) へ進みます。

「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加

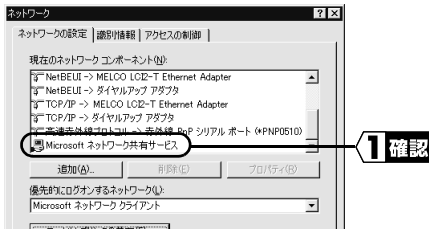
1 「ファイルとプリンタの共有」をクリックします。



2 「ファイルを共有できるようにする」および「プリンタを共有できるようにする」のチェックボックスをクリックして ON にし、[OK] をクリックします。



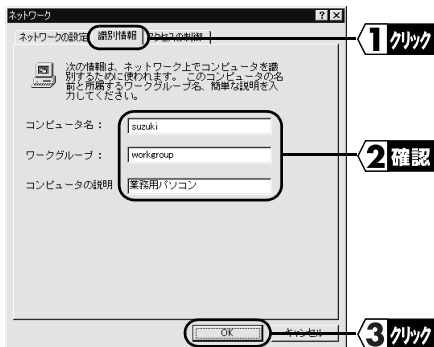
3 「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されます。



次へ 「コンピュータ名・ワークグループの確認」(P33) へ進みます。

コンピュータ名・ワークグループの確認

- 1 [識別情報] タブ (Windows95 の場合は、「ユーザー情報」タブ) をクリックして、[コンピュータ名]、[ワークグループ]、および [コンピュータの説明] を確認し、[OK] をクリックします。



メモ [コンピュータ名]、[ワークグループ] には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意 一部の漢字やピリオド(.)などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

注意 ワークグループ名は、ネットワークで接続する全てのパソコンに同じ名前を設定してください。

参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明] の詳細説明については、第6章 用語集の「Windows98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報) 画面」(P57)を参照してください。

- 2 「今すぐ再起動しますか?」と表示されますので、[はい] をクリックします。

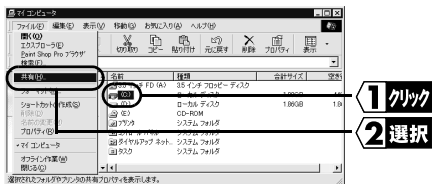
次へ 「パソコンの共有設定」(P34)へ進みます。

パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。ここでは、「マイ コンピュータ」の中のCドライブを共有するときの手順を例に説明します。

1 デスクトップ上の「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

2 Cドライブのアイコンをクリックし、「ファイル」-「共有」を選択します。



3 「共有する」のオプションボタンをクリックし、「共有名」「コメント」「アクセス権の種類」「パスワード」を確認または変更し、「OK」をクリックします。



▶参照 「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」の詳細説明については、第5章用語集の「■ Windows98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報) 画面」(P57)を参照してください。

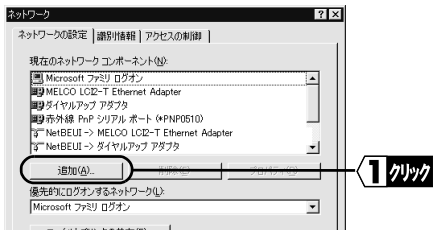
4 Cドライブのアイコンが画面のようになります。



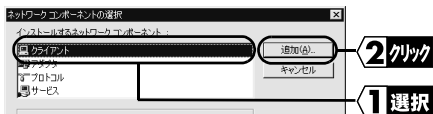
▶次へ 「他のパソコンとの接続」(P37)へ進みます。

「Microsoft ネットワーククライアント」の追加方法

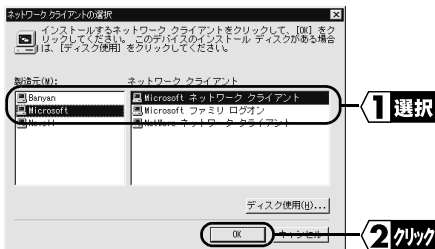
- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 [クライアント] を選択し、[追加] をクリックします。



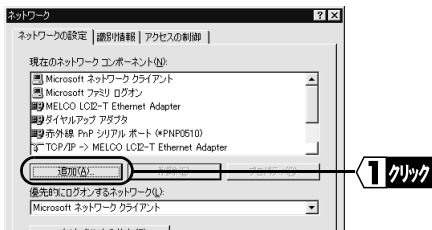
- 5 [製造元] に「Microsoft」を、[ネットワーククライアント] に「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックすると、手順 3 の画面に戻ります。



次へ 「「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認」(P30)へ進みます。

「NetBEUI」の追加方法

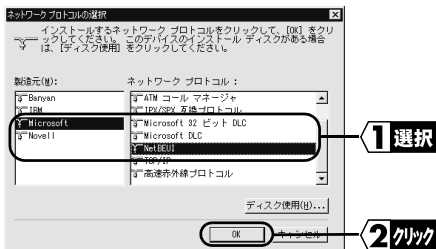
- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 [プロトコル] を選択し、[追加] をクリックします。



- 5 [製造元] に「Microsoft」を、[ネットワークプロトコル] に「NetBEUI」を選択し、[OK] をクリックすると、手順 3 の画面に戻ります。

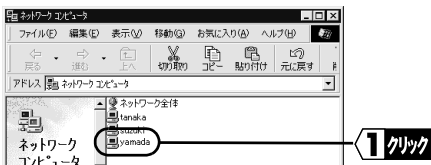


次へ 「「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認」(P30) へ進みます。

他のパソコンとの接続

ネットワークへの接続が完了したら、接続したいパソコンと実際に接続してみましょう。Windows98の画面を用いて説明します。

- 1 デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。Peer to Peer 接続されているパソコンが表示されます。
- 2 接続したいパソコンをダブルクリックします。



▶参照 接続したいパソコンが表示されないときは、第5章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43)を参照してください。

- 3 「パソコンの共有設定」(P34)で、設定されたドライブが表示されます。接続したいドライブをダブルクリックします。



- 4 ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。



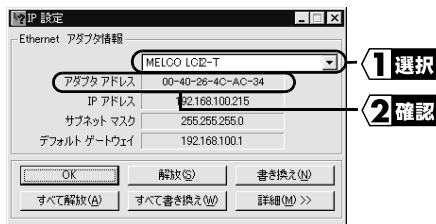
本製品を装着したパソコンから、LAN ネットワーク上のパソコンへの接続が完了しました。ネットワークを利用した快適な環境でパソコンをお使いください。



MAC アドレスを確認するには

TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、以下の手順で MAC アドレスの確認ができます。

- 1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。
- 2 [WINIPCFG.EXE] と入力し、[OK] をクリックします。
『IP 設定』ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「MELCO LC12-T」を選択します。MAC アドレスは、「アダプタアドレス」に表示されています。



4

Windows2000 環境での設定

ご使用の環境が Windows2000 の場合は、以下の手順に従って、本製品の設定をおこなってください。

ドライバのインストール

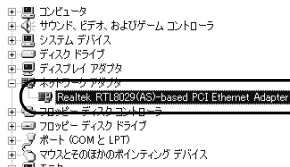
本製品を Windows2000 でお使いの場合は、ドライバのインストールは自動的におこなわれます。以下の手順で、本製品の取り付けおよび正常にドライバがインストールされたか確認をおこなってください。

注意 パソコンの電源を ON する前に、本製品がパソコンに正しく取り付けられているか確認してください。

メモ Windows2000 の ACPI 機能※には対応していません。

※ OS によって直接電源を管理をする機能

- 1 Windows2000 を起動して、アドミニストレータ権限を持ったログイン名 (Administrator 等) でログインします。
本製品が自動的に認識され、ドライバがインストールされます。
- 2 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 3 [システム] アイコンをダブルクリックします。
- 4 [ハードウェア] タブをクリックして、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。
- 5 [ネットワークアダプタ] に「Realtek RTL8029(AS)-based PCI Ethernet Adapter」が表示されていることを確認してください。



次頁へ続く

以上で本製品のインストールは完了です。

▶次へ 「伝送モードの設定」(P40) へ進みます。

伝送モードの設定

- 1 [スタート]—[設定]—[コントロールパネル]を選択します。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、「ハードウェア」タブをクリックします。
- 4 [デバイスマネージャ]をクリックします。
- 5 「ネットワークアダプタ」の下にある「Realtek RTL8029(AS)-based PCI Ethernet Adapter」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- 6 「Realtek RTL8029(AS)-based PCI Ethernet Adapter のプロパティ」画面で「詳細設定」タブをクリックします。
- 7 「プロパティ」欄の「Line Speed」を選択して、「値」欄で設定する伝送モードを選択します。



メモ 「TP Full Duplex」（全二重）に設定した場合は、自動認識したハブと接続しても通信できません。この場合は、必ず接続するハブの伝送モードを手動で「全二重」に設定してください。

設定できる伝送モードは次の通りです。

TP Half Duplex	10Mbps 半二重（出荷時設定）
TP Full Duplex	10Mbps 全二重

注意 「AU1/10Base5」および「BNC/10Base2」に変更しないでください。

- 8 [OK] をクリックします。
伝送モードが設定されます。

5

困ったときは

本製品を使用して発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

本製品がパソコンに認識されません。

原因①

本製品がパソコンの PCI バススロットに確実に差し込まれていない。

対策①

本製品を取り付け直してください。

原因②

パソコンの PCI バススロットが故障している。

対策②

- ・ 本製品を他の PCI バススロットに差し込んでください。
- ・ 他にパソコンをお持ちの場合は、他のパソコンの PCI バススロットに差し込んで PCI バススロットが故障していないか確認してください。

ドライバに!マークがついている

「MELCO LC12-T Ethernet Adapter」に!マークがついている。

原因

- ・ ドライバのインストールに失敗している。
- ・ リソースが競合している。

対策

「インストール画面が表示されない。」(P43)を参照してください。

インストール画面が表示されない。

Windows98/95 環境で、本製品を装着後にパソコンを起動しても、ドライバのインストール画面が自動的に起動しない。

原因①

ドライバのインストールに失敗している。

対策①

次の手順に従って、ドライバを削除し、再度ドライバのインストールを行なってください。

▲注意 作業の前に、パソコンに本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [システム] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
[ネットワークアダプタ] の中の「 MELCO LC12-T Ethernet Adapter 」、または「 Realtek RTL8029 Ethernet Adapter and Compatibles 」を選択し、[削除] をクリックします。



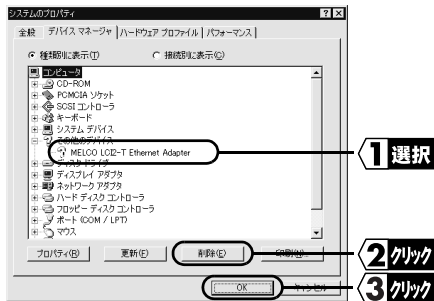
次頁へ続く

5

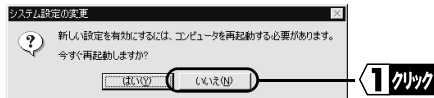
困ったときは

- ▶ [その他のデバイス]の中に以下のデバイス名が表示されているときがあります。その場合は、そのデバイス名を選択し、[削除]をクリックした後[OK]をクリックします。

- ・ MELCO LC12-T Ethernet Adapter
- ・ PCI Ethernet Controller
- ・ Realtek RTL8029 Ethernet Adapter and Compatibles



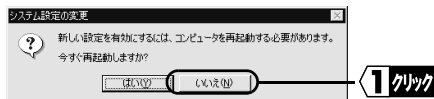
- 4 「今すぐ再起動しますか?」と表示されますので、「いいえ」をクリックします。



- 5 コントロールパネル内の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「 MELCO LC12-T Ethernet Adapter 」が表示されている場合は、削除してください。

- 6 [OK] をクリックします。

- メモ** 「今すぐ再起動しますか?」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

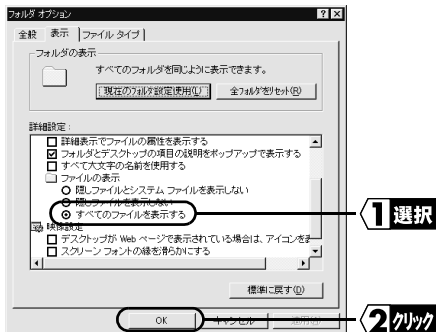


メモ Windows95をお使いのかたは、手順 7～10を行う必要はありません。

7 [スタート]-[プログラム]-[エクスプローラ]を選択します。

8 [表示]-[フォルダオプション]を選択して、「表示」タブをクリックします。

9 「すべてのファイルを表示する」を選択して、[OK]をクリックします。



10 「C:\Windows\INF\OTHER\MELCO INC.NETLC12T.INF」を選択し、[削除]をクリックします。



11 Windows98/95を終了させ、パソコンの電源スイッチをOFFにします。「ドライバのインストール」(P14)を参照して、ドライバを再インストールしてください。

次へ 「ドライバのインストール」(P14)へ進みます。

5

困ったときは

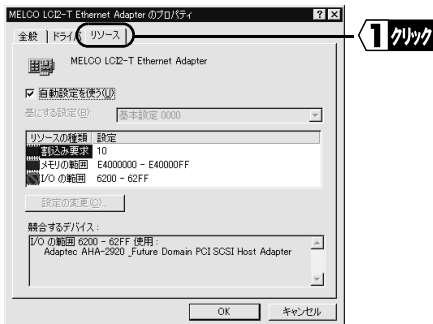
原因②

他のデバイスが本製品と同じ I/O の範囲、メモリの範囲を使用している。
(リソースの競合)

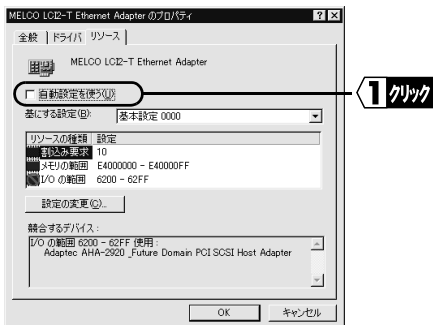
対策②

次の手順に従って設定を行ってください。

1 [リソース] タブをクリックし、競合しているリソースを確認します。



2 [自動設定を使う] (Windows95 の場合は「自動設定」) のチェックボックスをクリックし、チェックマークを消します。

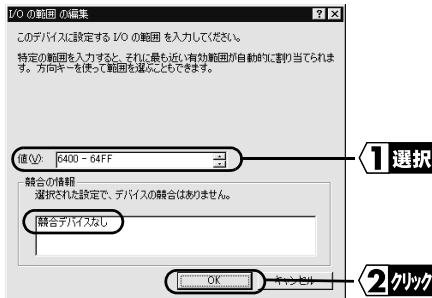


3 [競合するデバイス] のメッセージを参考にして変更するリソースを選択します。(例:「I/Oの範囲」が競合しているとき)

4 「I/Oの範囲」(または「メモリの範囲」)を選択し、[設定の変更]をクリックします。



5 [競合の情報] に「競合デバイスなし」と表示されるように [値] 欄の設定値を適当に変更し、[OK] をクリックします。



5
困ったときは

次頁へ続く

6 [競合するデバイス] に「競合はありません。」と表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。



次へ 「インストール後の確認」(P26) へ進みます。

原因③

他のデバイスと割り込み (IRQ) が競合している。または、割り込み (IRQ) の空きが不足している。

対策③

いったん本製品を取り外し、割り込み (IRQ) を確保してから取り付けてください。割り込み (IRQ) の確保は次のいずれかの方法で行います。パソコン本体のマニュアルも必ず参照してください。

- ・使用していないパソコン本体の機能 (シリアルポートなど) を無効にする。一般的にシリアルポートは BIOS で無効にします。
- ・他の拡張ボードの割り込みを変更する。
- ・使用していない拡張ボードを取り外す。
- ・DOS/V 機、PC98-NX シリーズの場合は、パソコンの BIOS で割り込みを固定に設定する。(ただし、BIOS で割り込みを設定できない機種を除く)

※本製品が使用する割り込み (IRQ) は、パソコンから自動的に割り当てられますので、Windows 上からは手動で変更できません。

※パソコンのメーカーが BIOS のアップデートサービスを行っている場合は、新しい BIOS にアップデートすることで、トラブルが解消されることがあります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

OS を変更したらネットワークに接続できなくなった

今まで Windows98/95 で正常に動作していたが、OS を WindowsNT4.0 に変更したところ、ネットワークにつながらなくなった。

原因

WindowsNT4.0 は Plug&Play に対応していないため、従来の設定ではボードが認識されなくなることがあります。

対策

パソコン本体の BIOS で Plug&Play の設定を「No」にしてください。詳細についてはパソコンのマニュアルを参照してください。

他のコンピュータが表示されません。

「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されません。また「MELCO LCI2-T Ethernet Adapter」に!マークがついている。

原因①

Windows98/95 を起動したときにパスワードを入力していない。
(ユーザー名/パスワードの入力画面で [キャンセル] ボタンをクリックしたり、<Esc> キーを押している。)

対策①

Windows98/95 を起動したときに要求されるユーザー名/パスワードの入力画面では、必ず入力して [OK] ボタンをクリックしてください。万が一、パスワードを忘れてしまったときは、別のユーザー名を入力してください。ユーザー名とパスワードがコンピュータに登録されます。

次頁へ続く

原因②

本製品のドライバのインストールに失敗している。

対策②

ドライバが正常にインストールされているか確認してください。

Windows98/95の場合：

「インストール後の確認」(P26)を参照してください。

原因③

ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるのに時間がかかっている。

対策③

以下の手順でコンピュータの検索をしてください。

1. [スタート]-[検索]-[ほかのコンピュータ]を選択します。
2. 「名前」に、接続先のコンピュータ名を入力して、[検索開始]をクリックします。



3. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックして、接続してください。



原因④

ワークグループの設定が間違っている。

対策④

ワークグループの設定を確認してください。

原因⑤

ネットワークの設定が正常にできていない。

対策⑤

プロトコル、ワークグループ名や共有設定の確認を行ってください。

Windows98/95 の場合：

「ネットワークの設定例」(P30) を参照してください。

原因⑥

- ・ストレートケーブルが LAN ボード側・ハブ側ともにしっかり接続されていない。
- ・ストレートケーブルが切断している。

対策⑥

- ・「カチッ」というまで、しっかり接続してください。
- ・別のストレートケーブルで接続してください。
- ・ハブとケーブルに問題があるのかもしれませんが。他のパソコンで正常に LAN 接続しているハブとケーブルを使用してみてください。

Windows 終了時にパソコンが止まってしまうときは

LAN ボードや LAN カードを取りつけると Windows 終了時にパソコンが止まってしまうことがあります。本製品を取りつけてこのような現象が発生した場合は、お使いのパソコンの環境に応じて、以下の対策を行ってください。

■ Windows98 Second Edition 使用時の対策方法

対策①

Windows98 Second Edition のアップデートモジュール (Windows98 Second Edition シャットダウン問題の修正) を使用してください。アップデートモジュールは、マイクロソフト社のホームページ (Windows Update) よりダウンロードできます。

対策②

Windows を終了する前に、「MS-DOS プロンプト」を起動してコマンドを入力してください。

以下の手順で行ってください。

1. [スタート]-[プログラム]-[MS-DOS プロンプト] の順に選択します。
2. MS-DOS プロンプトが起動したら、「NET USE */DEL」と入力し <Enter> キーを押します。
3. 「コマンドは正常に完了しました」と表示されたら、MS-DOS プロンプトを終了します。
4. Windows を終了します。

▲注意 この設定は、Windows を終了するごとに行う必要があります。

■ Internet Explorer Ver.4.01 使用時の対策方法

対策①

Internet Explorer Ver.4.01 のサービスパック 1 以降を使用してください。サービスパックは、マイクロソフト社のホームページ (Windows Update) よりダウンロードできます。

■ハードウェアの設定変更による対策方法

対策①

パソコンの電源を OFF にして、本製品を取り付ける PCI スロットの位置を変更してください。

▲注意 取り付け位置を変更した後は、ドライバを再度インストールする必要があります。マニュアルの手順に従ってインストールしてください。

対策②

本製品のリソースの設定を変更してください。リソースの設定の変更方法は、本製品のマニュアルを参照してください。

【困ったときは「インストール画面が表示されない。」(P43)の対策②、対策③を参照】

■メモ パソコン本体のマニュアルもあわせて参照してください。

本製品が正常に動作しない。

原因

ご使用のパソコンのパワーマネジメント機能が動作している。

対策

パワーマネジメント機能の設定を OFF にしてください。

詳細については、パソコンのマニュアルを参照してください。

6

用語集

本書で使われている用語の内、ネットワークを構成する上で必要となる用語について説明します。

■ I/O ポートアドレス (Input/Output)

CPU と周辺機器との間には、情報をやりとりする出入り口があります。どの周辺装置がどの出入り口を使うかを区別するために、各装置に割り当てられる番号が I/O ポートアドレスです。

■ IRQ (割込み要求 : Interrupt Request)

パソコンの周辺機器が要求する処理は全て CPU が行いますが、CPU はどの機器からいつ要求が来るかを予想できません。CPU が常に全ての機器を監視していると、処理時間よりも監視時間のほうが長くなり、非効率的です。そこで、各周辺機器から、CPU に対して実行してほしいことが発生した場合に、IRQ の番号を使用して、現在 CPU が行っている処理に「割込み」と「要求」をします。CPU は、どの装置から要求が来たかを IRQ 番号より判断し処理を行います。割込み要求の処理が終わると、CPU は通常の処理に戻ります。

■ LAN (Local Area Network)

「ラン」と発音する。1 つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。10Mbps ~ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

■ MAC アドレス (Media Access Control Address)

ネットワークカードごとの固有の物理アドレスです。MAC アドレスは、先頭からの 3bytes のベンダコードと残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成されます。ベンダコードは、IEEE が管理 / 割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワークカードの製造メカが独自の番号（重複はしない）で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行います。

■ Microsoft ネットワーククライアント

Windows98/95/NT4.0 などのサーバサービスを利用するためのクライアントソフトウェア。通常プロトコルには、「NetBEUI」が使用されます。

■ NetBEUI プロトコル

小規模から中規模の LAN 用のネットワークトランスポートプロトコルです。NetBEUI は、OSI プロトコルモデルのトランスポートおよびネットワーク層プロトコルに相当する。これを NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現される。Windows98/95/NT4.0 などで、サポートされています。

■ Peer to Peer 接続

パソコンが、LAN や WAN を介して互いに対等な関係で行う通信です。サーバ・クライアントシステムとは異なり、ネットワーク上のいずれのパソコンも他のユーザにその資源を利用可能にすることができます。

■ Windows98/95 のユーザー名とパスワード

ドライバのインストールが完了し、パソコンを再起動すると、『ネットワークのインストールの入力』ダイアログボックスが表示されます。

- ・ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ・ユーザー名とパスワードは、Windows98/95 をセットアップする過程で設定しています。初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力してください。（マルチユーザーで複数の環境を切り替えてパソコンを使用できるようになっています。よって、新たにユーザー名とパスワードを入力することにより、ログインできます。）

■ Windows98/95 の共有設定画面

共有したいドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」を選択すると、次の画面が表示されます。



画面内の説明は、次の通りです。

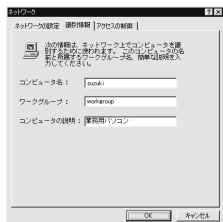
- 共有しない： ドライブの共有を解除するときに選択します。
- 共有する： ドライブを共有するときに選択します。
- 共有名： 共有するドライブの名称を変更できます。
- アクセスの種類： 共有するドライブに対しての読み書きを許可します。
- 読み取り専用： 共有するドライブを読み込み専用にします。
- フルアクセス： 共有するドライブに読み書きを許可します。
- パスワードで区別： パスワードにより、読み書きを許可します。
- パスワード： 「アクセスの種類」に対するパスワードです。
- 読み取り専用： 読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
- フルアクセス： 読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

■ Windows98 の識別情報 (Windows95 の場合はユーザー情報) 画面

表示される画面

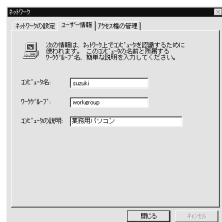
Windows98 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「識別情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



Windows95 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「ユーザー情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



画面内の説明

画面内の説明は、次の通りです。

コンピュータ名： ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。

ワークグループ： ネットワーク上で、区別をするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。

コンピュータの説明： 「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。

メモ [コンピュータ名]、[ワークグループ]には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意 一部の漢字やピリオド(.)などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

■ クライアント

サービスの提供を受ける側のことです。サーバにある情報やサービスを利用することができます。

■ プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。例えば、2つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行う上で必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

■ リソース（システムリソース）


パソコンの各周辺装置（マウス、キーボードなど）や、LAN ボード、LAN カードなどに割り当てられている IRQ、I/O ポートアドレスを総称した名称です。

7 付 録

本製品の仕様とモジュラコネクタ仕様について説明します。

製品仕様

LAN インターフェイス	規格	IEEE802.3 準拠
	伝送速度	10Mbps
	伝送路 符号化方式	マンチェスターコーディング
	アクセス方式	CSMA/CD
	転送方式	I/O 転送方式
リソース	I/O ポート アドレス	PCI BIOS による割り当て
	割り込み	PCI BIOS による割り当て
消費電流		45mA (MAX) /+5V
動作環境	動作温度	0 ~ 55 °C
	動作湿度	20 ~ 80% (但し、結露なきこと)
外形寸法		120 (W) mm × 46 (H) mm

 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

7

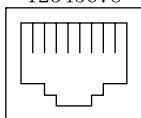
付
録

モジュラコネクタ仕様

ISO/IEC8877:1992 で規定された RJ-45 型 8 極コネクタを使用しています。

■ MDI 信号の割り当て

12345678



ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	TD+	送信データ (+)
2	TD-	送信データ (-)
3	RD+	受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	RD-	受信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアル No. が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要な事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

※本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方であれば受けられません。

※ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

■修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要な事項をご記入の上、製品と一緒に送ってください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

※ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはサポートセンター（裏表紙に記載）へお願いします。

※宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

※送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

※修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ハードディスクやフラッシュメモリなどの記憶装置は、修理の際にデータを消去いたします。また、故障状態によっては記憶媒体の交換をすることがあります。お送りいただく前に必要なデータのバックアップを作成しておいてください。なお、データ復旧は承っておりませんのでご了承ください。

※AirStation、BroadStation、Link Station は、修理の際に製品購入時の状態に戻るため、接続ユーザ名／パスワード／無線暗号キー（WEP）などお客様が書き込んだ設定内容が消去されます。修理完了後、再度設定が必要です。お送りいただく前に、設定内容をメモしておいてください。

※修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先：〒456-0023 名古屋市熱田区六野 2-1-3 中京倉庫 27 号棟

バッファロー 修理センター宛

TEL:052-883-0570

- チェック項目：
- ① 返送先〔氏名／住所／電話番号（内線）/FAX 番号〕
 - ② 平日昼間の連絡先〔氏名／住所／電話番号（内線）/FAX 番号〕
 - ③ 修理対象の弊社製品名
 - ④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
 - ⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
 - ⑥ 具体的な症状／エラーメッセージ
 - ⑦ 発生状況〔始めから／ある日突然／環境を変えたら〕
 - ⑧ 発生頻度〔必ず／頻繁／時々／時間が経つと、他〕
 - ⑨ コンピュータ〔本体メーカー名／型番／シリアルナンバー〕
 - ⑩ ハードディスク〔メーカー名／型番／シリアルナンバー〕
 - ⑪ プリンタ〔メーカー名／型番／シリアルナンバー〕
 - ⑫ その他周辺機器〔メーカー名／型番／シリアルナンバー〕
 - ⑬ OS〔オペレーティング・システム〕〔ソフト名／メーカー名／バージョン〕
 - ⑭ アプリケーション／バージョン〔症状に依存性のある場合は詳細も〕
 - ⑮ 製品以外の添付品〔付属ソフトなど〕

弊社製品の情報は次の方法で入手できます



インターネット

製品情報 buffalo.jp

サポート情報 86886.jp



製品
サポート

サポートセンター

〒 457-8520 名古屋市南区柴田本通 4-15 株式会社バッファロー
本製品のサポートは下記で承っております。

<東京> 03-5781-7435

月～金 9:30～19:00

土 9:30～12:00/13:00～17:00

<名古屋> 052-619-1825

月～金 9:30～17:00 ※祝日を除く

※ 電話番号のおかけ間違いがないようご注意ください。

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

- ・ コンピュータ名と使用 OS
- ・ 本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・ 設定内容（スイッチ設定など）
- ・ 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。
最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。